

名寄市の障がい者雇用に 取り組む企業の紹介



名寄市障害者自立支援協議会

名寄市障害者自立支援協議会とは…

名寄市障害者自立支援協議会は、地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域の課題を共有し、その課題を踏まえて、地域のサービス基盤の整備を着実に進めていくための協議の場として設置しています。

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づき、平成24年4月より法定化されましたが、名寄市では平成18年より設置しています。

協議会を構成する委員は、福祉サービス事業者、保健所、教育機関、関係団体、民生委員、障がい当事者やその家族など地域の実情に応じて選定することとなっており、本市でも、当事者や障害福祉サービス事業者のほか、名寄市立大学、保健所、病院、弁護士、商工会議所など様々な方が参加しています。

本取組みの経緯

協議会では、「相談支援・権利擁護」と「就労・生活支援」それぞれの課題について、取組を行っています。近年は「障がい者の就労」について、働きたい障がい当事者の方への支援と、雇用する企業側へのアプローチの方法を協議してきました。

ハローワーク名寄管内においては、障がい者の雇用率が全道22か所中5位になるなど、障がい者を積極的に雇用している地域です。協議会では令和2年度、3年度の障害者週間（12月3日～9日）に合わせ、名寄市内で障がい者雇用に取り組んでいる企業について、地元新聞等に紹介記事を掲載いたしました。

今回、これまでに紹介した内容と、障がい者の就労に関する相談や支援を行っている市内機関を掲載した本冊子を作成することで、障がい者雇用についての理解の促進を図り、今後さらに障がい者の働く場が増えていくことを目的としています。

1

「正面から向き合うことが大切」

株式会社もち米の里ふうれん特産館

株式会社もち米の里ふうれん特産館のレストラン「お食事風の寄り道」を訪問し、総務部長の田口さんと、当事者のAさんに、お話を伺ってきました。

現在、ふうれん特産館のレストランでは、障がい者を1名雇用しており、食器のセッティング等の厨房内の調理補助や、ごみを回収する作業に従事し、働きぶりはとても良いそうです。

障がい者を雇用したきっかけは、ハローワークから勧められたことで、企業として挑戦してみようと思い、「障がい者枠」で募集をしたそうです。

雇用する時のポイントとしては、業務上、機械を使う作業があり、リスクが伴うため、こちら側から声かけをした時に、反応をしてくれる等、ある程度の受け答えができる人を雇用しているとのことでした。

雇用するメリットとしては、頑張っている姿が、まわりにいい影響を与えており、職場の雰囲気よくなり、まわりも「やろう！」という気持ちになっているとのことでした。

田口さんが、「障がい者と正面から向き合うことがとても大切だと思う。雇用に際しては、障がい者を迎え入れるような環境づくりや組織作りが大切」と話していたことが、印象的でした。

Aさんは、調理関係の仕事をしたいたいと思い、求人に応募したそうです。事故の後遺症で、もの忘れをしてしまうこともあるそうですが、まわりのみんなが声かけをしてくれ、見守ってくれているため、安心して働いていると話してくれました。また、就職を目指している障がい者へのメッセージとして「障がいにとらわれず、自分らしさを忘れずに、仕事にトライしてもらいたい」と話してくれました。



2

「障がい者の方も大事な戦力です！」

ヤマト運輸株式会社 名寄支店

ヤマト運輸株式会社の名寄支店を訪問し、「障がい者雇用」について、お話を伺ってきました。（現在の所長 佐竹 利幸さん）

現在、名寄支店では、2名の障がい者の方が働いていて、ドライバーが来る前に、トラックに荷物を積み込んだり、端末に入力をする作業をしている状況です。このお二人の方は、仕事にも慣れ、戦力になっているとのことでした。

雇用した最初の頃は、福祉施設の職員が本人に同行してくれたので、仕事を覚えたり、職場に慣れることが、スムーズにいったそうです。障がい者を採用する際のポイントは、「仕事に対してのやる気」だそうです。これは、障がい者に限ったことではなく、健常者にも言えることだと思いますが、「一緒に働いてくれるやる気のある人」に来てもらいたいと思っているそうです。

人の募集をしても、なかなか人が集まらない状況がありますので、障がい者や高齢者の方々にも目を向けるようにしているそうです。また、雇用したあとも、長く元気に働いていただけるように、日頃から声かけをするなど、コミュニケーションを取るようにしているそうです。いろいろな店舗で障がい者の従業員と働いてきた経験がありますので、自然な感じで、障がい者の方と接しているようでした。

障がいがある人の自立と社会参加を支援することを目的に「ヤマト福祉財団」を設立された、クロネコヤマトの小倉会長が亡くなられて、15年くらい経ちます。これまで様々な取り組みが行なわれてきましたが、小倉イズムは、名寄支店にも、脈々と受け継がれていました。



3

「貴重な戦力」

イオン北海道株式会社マックスバリュ名寄店

マックスバリュ名寄店を訪問し、店長の山内さんに、「障がい者雇用」について、お話を伺ってきました。

現在、名寄店では、障がい者が8名働いており、中には、20年以上継続して勤務されている方もいるそうです。農産・畜産・惣菜・デイリーの各部門で作業を担当しており、みなさん一生懸命働いてくれているとのことでした。

障がい者の雇用の背景には、人手不足があるものの、この地域周辺には、養護学校があり、市との結びつきもあるため、雇用が進んでいるではないか？とのお話もありました。

雇用をする時のポイントとしては、どこまでできるか等は、実際に実習中の働いている様子を見て判断するようにしているとのことでした。長く働いてもらうためには、他の従業員と同様に、技術や知識のステップアップをしていく必要があるとのことでした。ただ、そのタイミングの判断が難しいため、今後の課題でもあるとお話もありました。

店長さんは、「名寄市は、人口があまり多くはない地方都市であるため、障がいのある方も、貴重な戦力になっている。企業は、「障がい者を雇用すればよい」のではなく、障がいの有無にかかわらず、それぞれの能力を伸ばしていく環境を整える等の責任もあると思う」とお話してくれたことが、とても印象的でした。



4

「日頃の声かけが大切」

株式会社西條ベストホーム名寄店

株式会社西條ベストホーム名寄店を訪問し、店長の中嶋さんと、食品マネージャーの北村さんに、「障がい者雇用」について、お話を伺ってきました。

現在、名寄店では、障がいのある方2名が働いており、品出しや発注作業、レジ操作等の業務を担当しているそうです。2名とも、貴重な戦力になっているとのことでした。

雇用するときは、「良いところ」を見ているそうで、障がいのある・なしで判断はしていないそうです。また、店内の業務は、同じ業務の繰り返しが多いため、障がいのある方にとっても、働きやすい職場だと思うとのことでした。

雇用の間口は広くしており、現在も募集中なので、「仕事をしたい方は、ぜひ、ベストホームまでお問い合わせ下さい」と話していました。

これまで、退職された方が何名かいたそうで、その経験から、長く勤めてもらうためには、生活面の安定が大切だと考え、「最近どう?」「朝ごはん食べた?」など、他の従業員と同じように声掛けをしているそうです。小さな悩み事を聞き、アドバイスをすることもあるようです。

店舗には、「障害者職業生活相談員」の研修を受けた従業員が配置されています。研修を受けることで、障がいのある方への仕事の教え方等を学び、「指示は具体的に」、「一度に複数の指示をしない」等を心がけるようになったというお話があり、働きやすい環境が整えられていると感じました。

※「障害者職業生活相談員」とは…

障がい者の職業生活に関する相談をうける業務を行う人のこと。2日間日程の認定講習を受講する必要がある。



5

「共に働き続けることを目指して」

生活協同組合コープさっぽろ名寄センター

生活協同組合コープさっぽろ宅配事業本部名寄センターを訪問し、「障がい者雇用」について、お話を伺ってきました。（現在のセンター長 大城 貴光さん）

名寄センターでは、現在4名の障がい者が宅配商品の仕分けや倉庫の清掃、配達時に回収した資源物の分別等の作業を担当しています。

生活協同組合コープさっぽろは、企業理念の一つ「人と人をつなぐ事業」として「共に働き続けること」を目指し障がい者雇用を行っており、名寄センターでも市内福祉施設からの紹介や高等養護学校の実習受入れ等から継続して雇用につながっているとの事です。

雇用する際には、仕事について説明しただけでは伝わらないこともあるので、実際に現場を見て体験してもらいながらすり合わせをし、本人に理解してもらうよう心掛けています。就職後も毎朝挨拶を交わしながら本人の顔を見て、作業中にも声をかけるなどの配慮をしていたり、就労支援にあたる福祉施設とも連携を図りながら本人が仕事を継続できるよう配慮しているとの事です。また、企業としても、障がい者に仕事を教えることで作業の分担につながることもあり、従来の仕事のやり方を見直す機会となるなど相乗効果も出ているとの事でした。

「たくさんの障がい者の方と出会ってきましたが、皆さん真面目にコツコツと取組む様子は見習うべきであり、職員の見本になっています。これからも支援者の方と協力しながら一緒に障がい者を見守っていきたいです」と温かいお話をいただきました。



6

「本人の特性に合わせた作業に」

マルハニチロ畜産株式会社名寄工場

マルハニチロ畜産株式会社名寄工場を訪問し、専務取締役の清水さんと、業務課課長代理の古屋さんに、「障がい者雇用」について、お話を伺ってきました。

現在、名寄工場では障がいのある方5名が働いており、と畜場内の枝肉洗浄や内臓処理等の作業を担当しています。労働力不足の中、貴重な戦力となっているとの事です。障がい者を雇用したきっかけは、市内の社会福祉法人や高等養護学校から「障がい者が地元で働くための仕事を確保してほしい」と相談を受けた事です。その気持ちに応えようと、就労支援を行っている福祉施設の職員が実際の作業を体験し、当事者が工場でどんな仕事ができるかを確認してもらうことからスタートしました。

雇用するポイントとして、本人が継続できる仕事の提供と、そのフォローアップの環境を整えることが大切との事です。本人の特性に合わせた作業を当てることで、仕事に集中しとても丁寧に取り組んでいるとの事でした。仕事を教えた後もケアが行えるよう、ジョブコーチ養成研修を受講した職員も2名、企業内に所属しており、中には取組みの当初から現在まで10年間継続して勤務されている方もいるそうです。

清水さんは、障がい者雇用は「福祉の場」ではなく、あくまで「はたらく場」でないと長続きしないと考えているとのことで、「障がいがあっても仕事ができる人がいて活性化に繋がっている。これからも地域貢献として取り組んでいきたい」と話されていました。

※ジョブコーチとは…

障がいのある人が仕事に適應できるよう、当事者、企業双方に支援を行う役割を担います。



名寄美装工業株式会社を訪問し、代表取締役の吉田さんと労務担当の春木さんにお話を伺ってきました。

名寄美装工業株式会社は、清掃、建物管理、ごみ収集、警備保障などの会社です。現在障がい者は5名働いており、清掃業務に従事されています。勤務形態は3～4時間の短時間やフルタイム勤務など本人の状況に合わせて設定しています。

1) 障がい者雇用のきっかけは？

法定雇用率を満たすためだったが、現在は人手不足に直面していることから「会社の戦力」として雇用している。また美深高等養護学校から実習の受入れがあり卒後就職してもらったことも大きなきっかけ。

2) 雇用をするときのポイントや心がけていることは？

清掃の仕事は見かけよりハードなので、障がい当事者に関わらず、就職を希望する方には、実際の清掃場所を再現した研修室で作業を体験してもらってから雇用している。仕事に出ても、通院などしやすいようにシフトを調整する、就業時間を本人に合わせるなどの配慮を行っている。現場のリーダーと相談しながら本人とも連絡を密にし、話をする機会を作ることが大切だと感じている。年4回の法定講習会や年数回の全体会議、忘新年会などお互いにコミュニケーションをとれるきっかけも作るようにしている。

3) 雇用のメリットと考えることは？

障がい当事者がハキハキと行動する姿を見て職場が明るくなった。得手不得手や障害特性などもあり教える側も勉強になった。

4) 今後に向けて

「ともに働く」という意識をもち、「多様性」を重視していきたい。障がい者雇用の拡大はこれからの時代企業や地域の活性化につながると思っている。戦力としても期待しているので希望があれば雇用者は増やしていきたい。アビリンピック(全国障害者技能競技大会)ビルクリーニング部門で全道大会に出てもらうことが夢。



株式会社名寄振興公社を訪問し、本部事業所長の小川さんと現在勤務されているKさんにお話を伺ってきました。

株式会社名寄振興公社は、施設管理受託業務を行っています（名寄温泉サンピラー、名寄ピヤシリスキー場、道立サンピラーパーク等）。現在障がい者は2名働いており、今回お話を伺ったKさんは清掃業務に従事されています。

1) 障がい者雇用のきっかけは？

全体的に人員不足があり、清掃業務の欠員補充のため求人を出していた。福祉事業所にも声をかけ、清掃業務に興味があると紹介を受け面談。体験実習や定着支援として障害者就業・生活支援センターにも関わってもらい雇用となった。

2) 雇用をするときのポイントや心がけていることは？

障がい者に限ったことではないが、挨拶やコミュニケーションがとれるか、仕事への意欲などを面談の際に確認している。仕事に関しては、一つずつ着実にできるよう習得状況を見極めながら、指示を出すように心がけている。また心身の状況なども確認できるよう日常会話をしながら作業している。

3) 雇用のメリットと考えることは？

とてもまじめに素直に取り組んでくれている。当事者の雇用は初めてだったため、雇用前に従業員には障がい者を雇用することを説明し、普段通りに挨拶や声掛けなどしてもらえよう伝えていた。忙しい中で本人への声かけがきつくなる事があったが、後から振り返り本人にフォローしてくれた場面もあった。本人の作業中の様子を見て従業員の理解や意識は深まってきている。

4) 今後に向けて

公社としては労働者不足の解消のため、障がい者にとっては自立に向けた就労のため、雇用する企業側も障がい者のできることできないことを理解して、マッチングがうまくいき、障がい者雇用が活性化されそれぞれが良い方向で進んでいくことを願っている。公社としても今後もマッチングがうまくいけば雇用は増やしていきたいと考えている。

【Kさんにインタビュー】

1) この仕事を始めた時期ときっかけは？

令和4年7月から。所属していた福祉事業所のプログラムで掃除のプログラムがあり、掃除も嫌いではなかったなので、やってみようと思った。

2) この仕事のやりがいは？

ごみの分別が大変だと他の人は言うが、目に見えてやった量がわかるので、やりがいというか達成感がある。一緒に仕事をする職員から「いつも頑張ってくれてありがとう」と声をかけてもらえることもある。

3) 仕事を続けてられている秘訣はありますか？

もともと温泉が好きで、仕事が終わった後に入浴している（福利厚生として無料）。疲れが取れて続けられている秘訣だと思う。好きなものがある場所で働けるのが良いところ。

4) 今後に向けて

またお客様と話をしたりする余裕がないが、話をしうまく終えるタイミングなどを今後覚えられたらと思う。（雇用している公社としても、今後本人の希望や状況などを見て時間の延長なども都度相談できるとのこと）

【Kさんの一日】

一日6時間勤務（途中休憩を含む）。

Kさんと職員1名の2名体制で従事
例)

8:00	バスで出勤
8:00～9:00	温泉脱衣場の清掃
9:00～9:20	ホテルロビーの清掃
	休憩
9:30～12:00	客室清掃（最大30室）
12:00～14:00	ごみ分別・トイレ掃除等
14:00	退勤・温泉へ（バスで帰宅）



名寄市の障がい者雇用に関する相談先

障がい当事者の方への支援と併せて雇用する企業の方への支援（当事者への関わり方や仕事の選定方法など）も行っています。

○ハローワークなよろ（名寄公共職業安定所）

名寄市西 5 条南 10 丁目 2-2 ☎01654-2-4326

○道北障害者就業・生活支援センターいきぬき

名寄市西 1 条南 7 丁目角館商会ビル 3 階 ☎01654-2-6168

○なよろ地方職親会

名寄市大通南 2 丁目 2 番地 ☎01654-3-1221

○名寄市基幹相談支援センターぽっけ

名寄市大通南 1 丁目 1 番地 名寄市役所名寄庁舎内 ☎01654-3-2111

福祉事業所（就労支援関連）

【就労継続支援 A 型事業所】

◎株式会社北星 FPC

○みなみな

名寄市西 4 条南 3 丁目 12 番地 1 ☎01654-3-1188

【就労継続支援 B 型事業所】

◎社会福祉法人道北センター福祉会

○道北ワークセンター

名寄市東 6 条南 9 丁目 109 番地 ☎01654-3-8831

◎社会福祉法人名寄みどりの郷地域生活支援センター

名寄市西 4 条南 2 丁目 17-1 川上ビル 2F ☎1654-8-7602

○手作りパン工房ハートフルみらい

○手作り豆腐工房ハートフルみらい

○名寄市総合福祉センター委託清掃

○陸上自衛隊名寄駐屯地食堂みらい

◎社会福祉法人なよろ陽だまりの会

○陽だまり

名寄市大通南 2 丁目 2 番地 ☎01654-3-1221

- カレー屋陽だまり（イオン名寄店フードコート）
- 工房陽だまりキッチン
- 工房陽だまりクリエイト
- サロン陽だまり（喫茶・サロン）
- ◎株式会社 Faro（ファロ）
 - チーズ工房マヤッカ
 - 名寄市西 1 条南 6 丁目 20 番地 ☎01654-8-7070
- ◎株式会社 Giggles（ギグルス）
 - Freiheit（フライハイト）
 - 名寄市西 1 条南 5 丁目 20 番地
- ◎名寄市立総合病院
 - Home Port Cafe（ホームポートカフェ）
 - 名寄市西 7 条南 8 丁目 1 番地 ☎01654-3-3101
- ◎株式会社エフリング
 - ジョブアカデミー名寄
 - 名寄市西 2 条南 6 丁目 16 ☎01654-8-7680

これらの名寄市内の就労支援を行う福祉施設は
「**名寄市福祉施設（働く場）マップ**」として、名寄市ホーム
ページにも掲載していますのでご参照ください。



<http://www.city.nayoro.lg.jp/section/kikansodan/prkeql000000j66s.html>

発行：令和5年7月

編集：名寄市障害者自立支援協議会

事務局) 名寄市健康福祉部基幹相談支援センター障がい相談支援係

〒096-8686

北海道名寄市大通南1丁目1番地

TEL:01654-3-2111

FAX:01654-9-2089

MAIL : ny-kikansoudan@city.nayoro.lg.jp